

令和 6 年度鳥取県社会教育振興大会兼社会教育委員研修会 要点

【大会テーマ】

「輝き躍動する鳥取県社会教育の未来～今こそ社会教育の出番です！～」

地域社会が直面する問題が複雑さを増す中、社会教育は地域住民の学びの機会を提供し、地域に根差した「調和と協調」に基づくウェルビーイングを向上させるための重要な役割を担っている。

【講演】

「変化する時代の社会教育推進の方向性について」

講師 栃木県真岡工業高等学校 校長 井上 昌幸 氏

(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター社会教育調査官や文科省中教審専門員等を歴任)

1. 「教育」が目指す方向性について
 - ・ウェルビーイングの循環、社会教育によるつながりづくり
2. 社会教育人材の養成及び活躍促進の在り方
 - ・社会教育士の養成と活用
3. みなさんの役割を考える
 - ・社会教育委員、行政職員、社会教育関係者
4. 地域づくりにおける社会教育の役割
 - ・地域づくりの段階の整理
5. 社会教育の新たな役割を考える
 - ①社会教育活動のボーダーレス化
 - ②新たな教育過程に対応した連携・協働
 - ③子どもたちのコミュニケーション力の向上
 - ④新たな社会教育人材の活躍

【分科会（全 8 分科会）】※抜粋

倉吉市「いち社会教育主事の葛藤と模索」

- ・公民館からコミュニティセンターへ
- ・社会教育主事としてのコミュニティセンターへの関わり方
- ・対話型事業をコミュニティセンターと共催
- ・複数年かけて市内全地区での実施を目指す

【社会教育委員研修会】

人々のウェルビーイングを実現するために社会教育委員が取り組むこと

- ・役割の確認
- ・活動状況
- ・グループワーク
 - ①課題の共有 ②解決のための知恵の出し合い ③共有